

神戸新聞

2010年7月8日 木曜日
朝刊 26面

神戸新聞

2010年(平成22年)7月8日 木曜日

神戸 地域ニュース 26

小児がん専門病院の設立を支援するため、甲南女子大(東灘区)は12月25日に、昨年に続き2回目となるクリスマスチャリティーコンサート「1700人で祈る子どもたちの未来」を開く。患者家族や出演

者らが7日、同大学で企画を発表した。合唱のボランティア出演者を募ってコンサートをPRし、寄付金集めにも協力する。

(直江 純)

小児がん病院設立目指し

専門病院は、兵庫や大阪の患者家族や専門医らでつくるNPO法人「チャイルド・ケモ・ハウス」が計画。小児がんの子どもたちは狭い病室で長期の闘病を強いられ、精神的負担が大きいとい

子らの未来
照らす音楽

クリスマスにチャリティー演奏会

田村さんは「小児がんの子どもたちは2坪ほどの病室で、寝起き、食事、勉強すべてをしている。もつといい環境で成長に必要な経験をさせてあげたい」と話す。

甲南女子大 コーラス隊募集



小児がんの子どもたちへの支援を呼び掛ける大
学やNPO、合唱団の関係者ら―甲南女子大

00円、学生1500
円、高校生以下1000
円。
同大コンサート事務局
078・413・38
11

記者発表
2010年7月6日(水)

毎日新聞

2010年12月1日 水曜日
朝刊 22面

毎日新聞

2010年(平成22年)12月1日(水)

兵庫 神戸

兵庫

22

「夢の病院」設立を支援

小児がん治療専門の病院設立を目指すNPO法人「チャイルド・ケモ・ハウス」(大阪府茨木市)の活動を支援しようとして、甲南女子大学(神戸市東灘区)が25日にクリスマスチャリティーコンサートを開く。コンサートは昨年に続き2回目。1700人を集め、収益金を同NPOに寄付する。

同NPOは、子どもと家族が一緒に暮らしながら治療に取り組める病院の設立を目指している。建設費用は約10億円。05年から募金を募るなどしているが、時期や場所はまだ決まっていない。

計画に賛同した同大学は昨年のクリスマスにコンサートを開催し、企画から当日の運営まで約20人の学生ボランティアが携わった。今回も約20人の学生がポスター作成や協

チャリティーコンサート

小児がん専門
治療計画賛同

収益金をNPOへ寄付

【米山淳】

賛金の呼びかけを担当する。文化社会学科3年の若菜千佐希さんは「夢の病院を夢で終わらせない。20人全員が絶対に建てるんだという思いを持っている」と意気込んでいる。今年のコンサートは、メゾ・ソプラノ歌手の税所美智子さんと合唱団がブラームスやシューマンの曲を披露する。合唱団員を200人募集し、9月から12月まで本番に向けて練習する。税所さんは「当日までのプロセスを楽しみながらコンサートを作り上げていきたい」と話している。

コンサートは25日午後2時から、同大学声原講堂で。チケットは一般2000円、大学生1500円、高校生以下1000円。コンサートの問い合わせは同大学事務局(078・413・3811)。

神戸新聞

2010年12月17日 金曜日
朝刊 24面

神戸新聞

2010年(平成22年)12月17日 金曜日

神戸新聞 地域ニュース 24

小児がん専門病院の設立を支援するため、甲南女子大(東灘区森北町6)が25日、クリスマスチャリティーコンサート「1700人で祈る子どもたちの未来」(神戸新聞社など後援)を開く。運営を手伝う学生は地元商店街の協力も取り付け、1784席の講堂を満席にしようと、PRに駆け回っている。(直江 純)

神戸新聞社など後援)を開く。運営を手伝う学生は地元商店街の協力も取り付け、1784席の講堂を満席にしようと、PRに駆け回っている。(直江 純)

小児がん専門病院設立へ

25日、甲南女子大チャリティーコンサート

広がれ支援の輪

地元商店街PRなど協力



コンサートに協力する岡本商店街振興組合の木下紀代子理事長(左)と若菜千佐希さん(右)ら学生=東灘区岡本2

専門病院は、兵庫や大阪の小児がんを発症するといふ患者家族や専門医らでつう。治療には長期入院が必
要な場合が多く、精神的負担も大きい。府茨木市)が阪神間での設立を計画している。

有志がチケット購入の協力を地域に呼び掛けたところ、今年から岡本商店街振興組合(木下紀代子理事長)が協力してくれることになった。

加盟店では、店頭でポスターを張ってチラシを配り、チケット販売もPR。和菓子店を経営する木下理事長は「学生の熱意が伝わり、理事も全員が賛成した。コンサートの入出は商店街にとってもプラス」と歓迎する。

現在、チケットの残りは約500席。人間科学部3年で学生代表の若菜千佐希さん(21)は「夢の病院」を夢で終わらせたくない。一人でも多くの人に足を運んでほしいと訴えている。午後2時開演。シューマンやブラームスなどの曲を声楽家や市民ボランティアが合唱する。一般2千円、学生1500円、高校生以下千円。同大コンサート事務局 ☎078・413・3811

神戸新聞

2010年12月26日 日曜日
朝刊 22面神戸新聞 2010年(平成22年)12月26日 日曜日
神戸版 地域ニュース 22

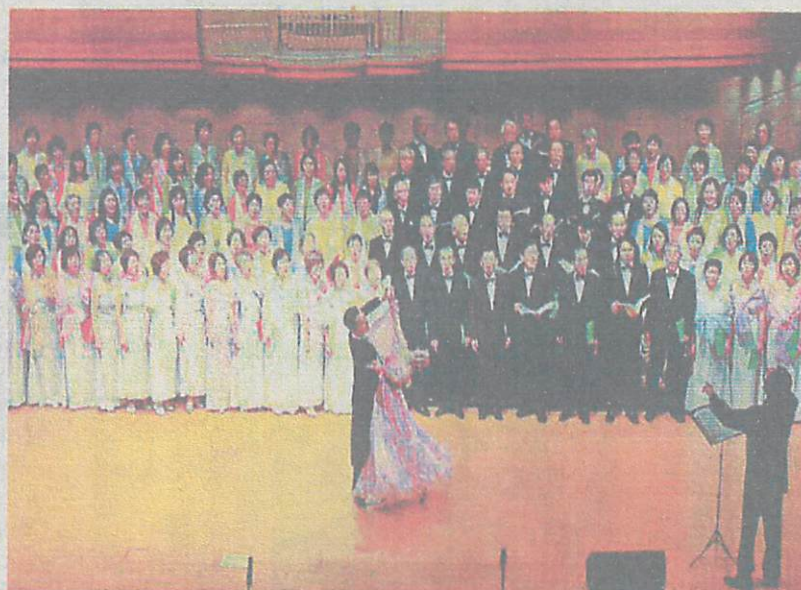
X'mas 荘厳な歌の贈り物

甲南女子大

合唱やダンス多彩に

同大の学生らが企画し、2回目。約1500人分の入場券の収益金や、P.O.法人「チャイルド・ケモ・ハウス」(大阪府

宝塚市の女性(69)は「すてきな演出で思いが



った。

第2部では、「きよしこの夜」などを観客とともに合唱したほか、社交ダンスや同大チアリーディング部の演技などもあった。

宝塚市の女性(69)は「すてきな演出で思いが

った。

第2部では、「きよしこの夜」などを観客とともに合唱したほか、社交ダンスや同大チアリーディング部の演技などもあった。

宝塚市の女性(69)は「すてきな演出で思いが

った。

第2部では、「きよしこの夜」などを観客とともに合唱したほか、社交ダンスや同大チアリーディング部の演技などもあった。

小児がんの子どもも支援コンサート

小児がんの子どもたちを支援するクリスマスチャリティコンサート(神戸新聞社など後援)が25日、神戸市東灘区森北町6の甲南女子大芦原講堂であった。バイアオルガ

ンの音色に合わせ約180人がクリスマスソングを合唱したほか、ダンスなど多彩な演出が繰り広げられ、客席を沸かせた。(岡西篤志)

合唱や社交ダンスなど多彩な演出で観客席を盛り上げたチャリティコンサート。甲南女子大芦原講堂。地元の岡本商店街振興組合も協力し、コンサートをPRするなどした。

毎日新聞

2010年12月26日 日曜日
朝刊 21面

毎日新聞

21

兵庫

神戸

2010年(平成22年)12月26日(日)



聴衆と一緒にクリスマスソングを歌う市民合唱団
—神戸市東灘区の甲南女子大で

小児がんの子に 夢の病院を

小児がん治療専門の病院設立のための「クリスマス・チャリティーコンサート」小児がんの子どもたちに夢の病院を。今年、神戸市東灘区の甲南女子大で開かれた。昨年に続き2回目。コンサートは今年も学生ボランティア約40人が生演奏。また、9月から練習を重ねた市民合唱団約1

東灘でチャリティーコンサート

80人も参加し、息のあった歌声を披露した。最後は、聴衆と一緒にクリスマスソングを歌った。収益や募金は、病院建設を目指すNPO法人「チャイルド・ケモ・ハウス」(大阪府茨木市)に寄付された。米田光宏副理事長は「『家に帰りたい』という1人の子どもの声から始まった活動。皆さんの支援でもう一歩の所まで来ています」とあいさつした。

【米山淳】

読売新聞

2010年12月26日 日曜日
朝刊 25面

2010年(平成22年)12月26日(日曜日)

25 地域

「夢の病院」設立歌声で支援

小児がん治療 慈善コンサート

甲南女子大

小児がん治療を支援する 法人に寄付される。

クリスマスチャリティ・コ

同法人によると、15歳以

ンサート「小児がんの子ど

もたちに夢の病院を120

を発症するのは年間200

10」が25日、神戸市東灘

033000人。長期の治

区の甲南女子大であり、市

療には精神的苦痛も伴う

民ら約1700人がクラシ

ックの軽やかな調べに聞き

入った。

同大学の学生らが5月、

NPO法人「チャイルド・

ケモ・ハウス」(大阪府茨

木市)が取り組む小児がん

専門治療施設「夢の病院」

の設立を支援する目的で企

画し、地元商店街などでP

R。コンサートの収益は同

心地の良い家庭的な環境を
備えた施設が求められてい
る。

コンサートでは、趣旨に

賛同したオペラ歌手の税所
美智子さんを中心に、公募
で集った180人の大合唱
団がシューマンの歌曲やお
なじみのクリスマスソング
を披露。客席からは大きな
拍手が送られていた。